

1. 研究課題名：
再生可能エネルギー技術の価値評価と導入戦略の
ための基盤構築

2. 研究代表者氏名及び所属：
本藤 祐樹（横浜国立大学 大学院環境情報研究院）



3. 研究実施期間：平成 25～27 年度

4. 研究の趣旨・概要

再生可能エネルギー技術は、地域の特性を生かし、その導入に伴い発生する正負の価値を考慮して、長期的な視点に立って導入を進めることが必要である。

本研究では、国や地域における再生可能エネルギー技術の導入戦略を策定するための評価基盤を構築し、ある地域を対象としたケーススタディを実施しその有効性を確認する。構築する評価基盤は、技術導入に伴うライフサイクル環境・社会経済影響を客観的に推計するとともに、それらの推計値に基づき意思決定者の主観を反映した導入戦略を導き出すことを支援する。

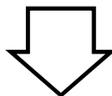
地域の導入戦略の策定を通して、トップダウン型とボトムアップ型のバランスのとれた再生可能エネルギー技術導入政策の立案に貢献する。

5. 研究項目及び実施体制

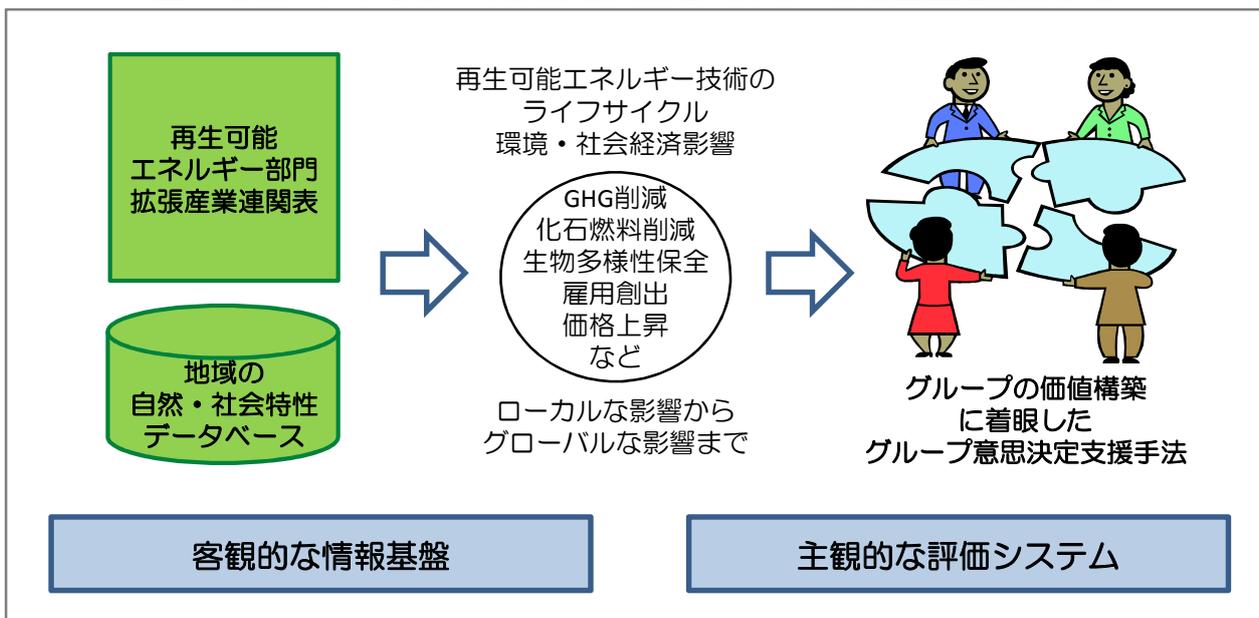
- ① 再生可能エネルギー技術の価値評価に関する情報基盤の構築（横浜国立大学）
- ② 再生可能エネルギーの導入戦略策定を意図したグループ意思決定支援システムの提案（独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構）

6. 研究のイメージ

再生可能エネルギー技術は、地域の特性を生かし、その導入に伴い発生する正負の価値を考慮して、長期的な視点に立って導入を進めることが必要である



国・地域における再エネ技術導入戦略のための評価基盤を構築する



地域の導入戦略策定を通して、トップダウン型とボトムアップ型のバランスのとれた再生可能エネルギー技術導入政策の立案に貢献する



将来発生しうる問題を予見し予防する問題解決型の研究